経営計画発表会のすゝめ

社長と社員の心の距離をグッと縮め業績向上させるために―

Management Plan Rollout

社長の決意を社員全体の羅針盤へ―

「我が社の経営方針や自分の考えがなかなか社員に伝わらない・・・」。中小企業経営者の多くがこのような問題を抱えています。どちらかというと経営者は長期的な視点で会社のことを考えていますが、社員は日々目の前の業務に追われています。このように考え方や行動の動機に違いがあるわけですから、見えている世界も全く異なり、お互いの意識の差を埋めることはなかなか難しいでしょう。社長が伝えたつもりでも、社員には全く伝わっていないということも少なくありません。

このような問題を解決するために、イワサキ経営グループでは、社員全員が一堂に会し、経営方針を理解する場である「経営計画（方針）発表会」をお勧めしています。

これは、期の始めに、今期の目標や将来的なビジョンについて発表する場です。まずは社長が経営理念・長期ビジョン・今期の方針について発表します。その後、それを受けた部門長が取組み発表、そして社員個々が具体的な行動計画について発表するという機会です。この時に、前期の社員表彰などをすると更に盛り上がって良いでしょう。終了後に懇親会などを行う企業もあります。

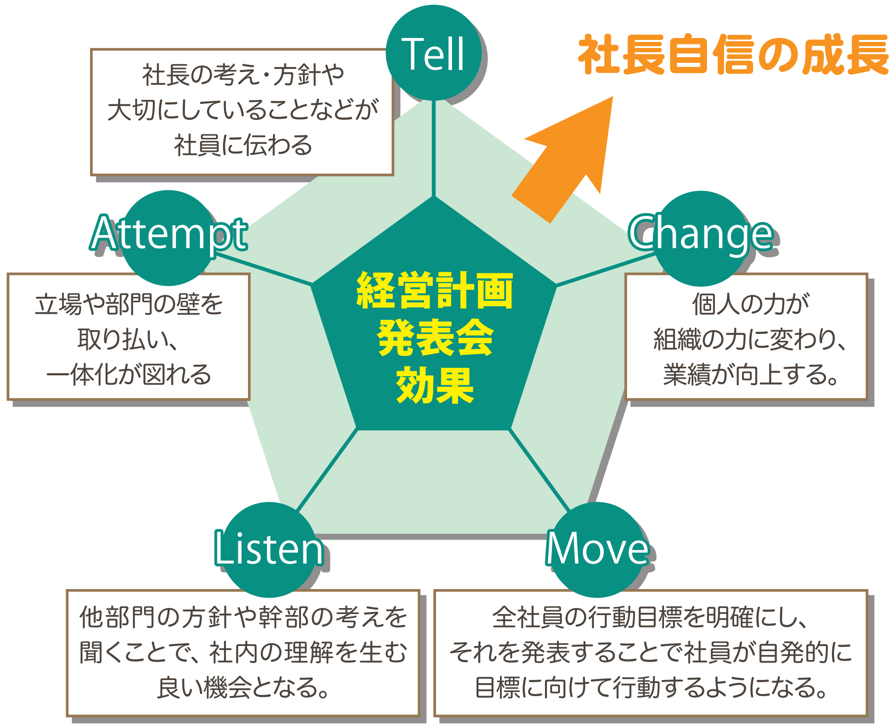
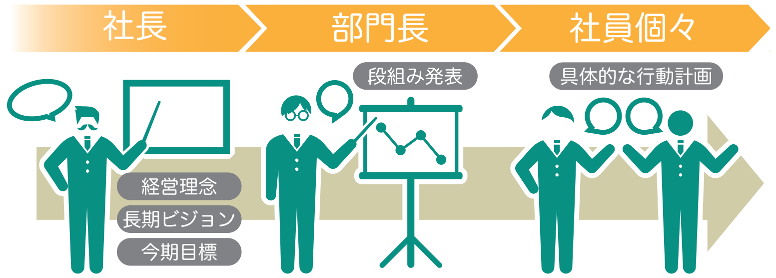
弊社では12月決算ですので、このような発表会を毎年1度、仕事初めの1月5日に行っています。なぜ仕事初めがよいのか。私たちは、元旦や誕生日などの節目の時には、「今年はこうしたい」という新たな決意を持ちます。過去1年間を振り返り、できたことできなかったことを確認し、「今年こそは」と気持ちを切り替えたりもします。会社経営においてもこのような「区切り」を持つことはとても大切です。そのため弊社では毎年仕事初めの日に行っています。そして、社員の気持ちが昴り、良いスタートを切る決意を持ってもらうため、あえてホテルなどを借りて、フォーマルな場で、環境を変えて行っています。

そして、経営計画発表会には次のような効果があります。

(1) 社長の考え･方針や大切にしていることなどが社員に伝わる。
(2) 立場や部門の壁を取り払い、一体化が図れる。
(3) 他部門の方針や幹部の考えを聞くことで、社内の理解を生む良い機会となる。
(4) 全社員の行動目標を明確にし、それを発表することで社員が自発的に目標に向けて行動するようになる。
(5) 個人の力が組織の力に変わり、業績が向上する。

そして、一番の効果は何よりも社長自身の成長です。社長は自分の会社や社員をこのような方向に導いていくという強い決意を持ち、約束をします。このような事を社長の頭の中だけで考えていたのでは、多少あいまいな部分があっても問題にはなりません。しかし、それを社員全体の羅針盤として提示するためには、「なぜ自分がこうしたいと思うのか」「なぜ社員がこうする必要があるのか」なども含め明確にしなければなりません。発表会を行うことで、これらのことに対し真剣に向き合うようになり、社長自身の成長にも繋がります。社長が成長すれば社員も成長します。

これからますます人材不足が進んでいきます。このような中、現在の社員と目的を共有し、力を合わせることが何よりも必要になってきます。この発表会に会社の規模は関係ありません。是非、一度この経営計画発表会を行ってみませんか？具体的な進め方などにつきましては、弊社スタッフに気軽にお問合せください。



【経営計画発表会の流れ】